

特別支援教育論		講義	非常勤講師 清水 秀俊
科目カテゴリー	スポーツトレーナーコース、スポーツマネジメントコースの教職科目 柔道整復師コースの教職科目 救急救命士コースの教職科目	科目ナンバリング	11520202 12520202 13520202

1. 授業のねらい・概要

特別支援教育についての基本的知識を修得し、特別支援教育をめぐる諸問題に関心を深め課題意識を持つようにすることをねらいとする。

また、本授業を通して、障害の有無にかかわらず、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の実現をめざそうとする態度を培うことを期待する。

先ず、特別支援教育の理念、歴史や制度、教育課程、自立活動についての基本的事項を説明する。次に、特別支援教育の現状と課題について概説する。次いで、各障害の理解と指導・支援について具体例（体育指導の工夫など）を示しながら説明する。さらに、校内支援体制および家庭や関係機関との連携の必要性について述べる。終わりに、障害者とスポーツ・芸術について言及する。

2. 授業の進め方

基本的には、配布プリント（授業レジュメ）をもとに講義形式で進めるが、授業に関連する新聞記事・テレビ番組・動画、特別支援学校や障害者団体のホームページなどを適宜紹介し、受講生に関心を深めることができるようにする。

また、毎回小レポートや予習復習メモを提出させるなどして、受講生の感想や意見などを把握し、優れた感想等を次の授業で紹介するなどして、学修への意欲向上を図る。

3. 授業計画

1. 特別支援教育の理念と基本的考え	9. 視覚障害の理解と指導・支援
2. 特別支援教育の歴史と制度	10. 聴覚障害の理解と指導・支援
3. 特別支援教育の教育課程	11. 知的障害の理解と指導・支援
4. 自立活動の理念と指導	12. 肢体不自由の理解と指導・支援
5. 特別支援教育の現状と課題	13. 病弱・身体虚弱および重度・重複障害の理解と指導・支援
6. 発達障害の理解と指導・支援①（学習障害および注意欠陥多動性障害）	14. 校内支援体制および家庭や関係機関との連携
7. 発達障害の理解と指導・支援②（自閉スペクトラム症）	15. 障害者とスポーツ・芸術
8. 情緒障害および言語障害の理解と指導・支援	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業レジュメやテキストを読んだり、授業に関連する事項について自主的に文献やインターネットなどで調べたりして予習復習メモにまとめ、2時間程度の予習復習を行う。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

毎回の授業終了時に提出する小レポートに対してコメントを付して返却したり、優れた感想・意見などを次の授業冒頭に紹介したりする。また、期末試験実施の後、解答などを掲示板に掲示する。

6. 授業における学修の到達目標

1. 特別支援教育の理念と基本的考え、歴史や制度、教育課程などについての基本的知識を修得し、記述ができる。
2. インクルーシブ教育と特別支援教育との関係について理解し、記述ができる。
3. 各障害の定義や特性について理解し、記述ができる。
4. 障害のある児童生徒の教育的ニーズに応じた多様な指導・支援の場や方法について理解し、記述ができる。
5. 特別支援教育を推進するうえでの校内支援体制および家庭や関係機関との連携の必要性について理解し、記述

とができる。

6. 特別支援教育における体育指導の工夫について理解し、記すことができる。

7. 成績評価の方法・基準

試験の結果（50％）、小課題への内容（30％）、授業への取り組み姿勢（20％）。

8. テキスト・参考文献

テキスト：

中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省）

参考文献：

高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省）

特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省）

9. 受講上の留意事項

特になし。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、特別支援学校および特別支援学級における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。